

ひと花新聞

第26号

平成27年9月1日
 発行 NPO法人釜ヶ崎支援機構
 ひと花 センター
 〒557-0002
 大阪市西成区太子
 1-13-15
 電話 06-666497890

夏だ祭いだお手伝い

「チンドン」
 パレード (赤鬼)

「あーあ今年も歩いたよ
 踊ったよ、ジョン君(子供の星)の掛け声でチンドンも
 オツカンも跳ねたせいで
 我々が抱いた個性もあつた
 ぬふり、絵を上下左右し
 ふり回して、チンドンの格好と
 写るよ、おんなりの合図の成り



釜ヶ崎おぶたを持って

終戦日 バクダンの雨思い出し (善人)

秋桜は 百恵の顔を想いつつ (貴和心)

餅や菓子 口一杯に 地藏盆 (赤鬼)

終戦日 思い出しても 忘れない (歌人)

コロコロと おろぎ鳴いて 秋を知る (池之辺)

「長孝の茶飯月報」
 今年の夏、僕にとつてけっとう
 暑い夏だった。子供達と釜ヶ
 崎市内のちんぱレードから始
 まる。三角公園公園での合図
 沖繩祭りのエイサー祭りで皆な
 と一緒に踊った。お土産
 での立ち食いのビールも本格的
 飲んじやった。その日は酔って
 しまった。早く帰ったけど二日目
 三日目と、いろいろお土産を
 楽しませてもらった。バカナイ(鳥)



萩の森

津守小



夏の思い出

今年の夏は年を取ったせいでしょうか？ 去年よりも暑く感じました。暑
 時に印象に残ったのは七月二十五日から八月三日まで教
 之茶屋小学校跡地のプレイパーク「三角公園」夏祭りの
 ころ、八月二十日から始まった津守小学校跡地のプレイ
 パークです。(九月三十日まで開催中) 暑
 暑い中、Aさん、Sさん、津日参加し
 泳ぐ姿は神々しく、清涼さを感じ、正に世道
 人心の道そのものであり、美しい海です。
 子供達が無心に遊ぶ姿を見ることが、次々創作意
 欲が湧き出る事や、体を動かす事により、ホケ防止や
 体力作り、成り一挙両得その上、子供達に遊んでモ
 らい、楽しみ感謝しながら参加しています。皆
 微力ですが地域社会、未来を育む子供達のためならば
 老体ですが常は構いません。ただ参加者の少なさと
 と奉仕活動への無感心者の多さに残念です。vvo

カサ池田

今宮工科高校周辺清掃



～ボランティア参加して～

「真夏の清掃」
 8月27日に今宮工科高校周
 辺を清掃しました。すくなく暑が
 たけれど、気持ちいいな。町を
 るのは気持ちよかったです。 (善人)

「福」
 んにちは。今夏、ひと花センター
 のボランティア「今宮工科高校周辺
 清掃」に参加させてもらいました。
 暑い中の清掃は、とても暑いけれど、
 ありました!! 町をキレイにクリーンに!!

区民祭りで野菜販売



区民祭りで野菜販売



弘治盆踊りの準備と片づけ

山王みどり公園の草刈り



「27-8月にはお祭りに
 暑い日か、つづき来たか
 そんな時に、ほんと
 いよいよお祭りが、お祭りに
 に住むお祭りに、お祭りに
 文鳥のヒヨコ、お祭りに
 ひと花の、お祭りに、お祭りに
 草花の、お祭りに、お祭りに
 山王みどり公園の、お祭りに
 草取りの、お祭りに、お祭りに
 草取りの、お祭りに、お祭りに」

僕と君恋の遊びも 秋になり (長安) 空高く急ぐわたぐも 秋近し (池之辺) 基地いづこ話し合う前 (ヘリが落ち (貴和心) 行く夏や惜しむ夕日の 浜てらす (病人)

いま語る 70年前の体験

広島に投下された原爆をその目で体験された利用者の方もおられました。二度と戦争による惨禍が起らないように願っています。

戦争の終りから70年が経ちました。原爆が広島に投下されたのは、昭和20年8月6日の朝です。私は、その時、広島市東区の大宮町の住人として、原爆の投下を体験しました。その時の様子を、今改めて語ります。

原爆が投下されたのは、朝の7時頃です。私は、その時、大宮町の住人として、原爆の投下を体験しました。その時の様子を、今改めて語ります。



Migas-日本



70年ひ孫に語るあの日々を (米泉) 夏終わり喜び知らぬ私かな (長安) 秋の声ちりちりと虫の声 (ターシー) ひと夏をおしんで鳴くやせみの声 (善人) 赤とんぼ羽根を休める稲穂かな (池之辺)

ひと花カラエメニュー

- 八月三日 酢豚
- 八月十日 八宝菜
- 八月十七日 流し
- 八月二十四日 マリ
- 八月三十一日 オムライス



カレーの日

今宮の農作業地で収穫した野菜を使った「ひと花カレー」を皆さんに食べていただく日を作りました。

日にち **2015年9月28日 (月)**
じかん **12時~14時**
メニュー **カレー (100食 予定)**

どなたさまも気軽に足をお運びください。

二代目、ピーコちゃん、ヒト花センターに引っついて八月三十一日まで一年かかりました。一週間程か、おちつかない日が過ぎました。一年たった今は、エサもよくたべ、ピーコちゃんも話しかけてくれます。つばの飛びまわります。よくに目をひく。からだごと、水につかり、羽根をバシバシ動かす。水につかり、水から顔を元気がいいつまでも、ピーコちゃんもかわいいうさむい。二代目、ピーコちゃんもかわいいうさむい。

「成功の時間」 ちんさんの健康法

布団の上で金魚運動

六十歳を過ぎれば自然と身体は硬くなる。手軽で簡単にできる運動は無いかと思う。朝、床から起き上がる前に腰から下の二本の足を左右にゆらゆらしたり、屈曲したり伸張させたり、又、両足首を回らせたりする金魚運動はみんなにできる運動です。筋肉の硬直は関節の硬直をつくり、気血水の滞りを招く。日常生活の中で階段の上り下りやといったことは他人事ではない。公園には様々な運動器具がある。肉体を少しでも柔らかくし元気に歩けるようになるにはやはり自助努力が必要。朝早く起きて公園に行き、みんなとラジオ体操するのも健康に良い。(詩人 秦知成)

赤とんぼ羽根を休める稲穂かな (池之辺)

赤とんぼ羽根を休める稲穂かな (池之辺)